

今、なぜ住民アンケートなのか



阿野二郎議員

早い段階で決めていた

なぜ住民アンケートなのか、その発想は何か。

田長

早い段階で決めていた

町長は合併推進を公約に多くの住民の支持をいただき当選を果たした。

合併を含め全ての町政を託されたわけだが、特に合併については住民の約80%が希望していることが選挙の投票結果からも推測できる。

県の市町村合併推進構想を機に議会とも真剣に議論を重ねており、すでに合併の枠組みでも「郡境を越えた1対1の合併は難しいし、やはり大きな枠組みでやつていく」という方向性を示しておきながら、これからと宣言矢先に、今ここに来て

皆様もこのことは対していろいろと不安視していることも把握できていたので、住民アンケートという形で、もう一回やつて行こうと自分としては早い段階で決めていたところである。

住民の皆様は合併に關しての認識はもつておられるので、座談会を開いて説明をしていくことは考えていないが、事前に住民の皆様に周知できるよう広報を使い、十分に意味が分かるようにしたうえで実施したいと考えている。

考へてはいない

前に住民に説明責任を果たすため、内容が良く理解できるように住民説明会を開催すべきと思うが、その考えはないか。

可予義昌

阿野議員
住民説明会の考え方

据え置きの

根拠を示せ

高齢者を 見込んでの結果

介護保険制度が6年振りに改正され、介護保険料も3年置きの見直しで本町は据え置きになつたが、その根拠は何か。

今回の保険料が据え置きになつた根拠は、保険料の算定で国が示した「介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確

年間の保険料基準額は現状の保険料で運営していく結論となつたところであります。

保するための基本的な指針」に基づき行うことになつており、その手順で得られた結果と県財政安定化基金からの借入金の償還や介護給付費の伸び率が落ちついた状況により発生した剰余金等を総合的に勘案し、今後の高齢者を見込んで算出した結果、平成18年度から3年間の保険料基準額は現状の保険料で運営していく結論となつたところである。

⑬ おおさき議会だより